

高位脛骨骨切り術（HTO手術）について

O脚変形のためにひざの内側（内側大腿-脛骨関節）に偏った荷重ストレスを、脛骨を切り、角度を強制することにより、比較的きれいな軟骨の存がする外側（外側大腿-脛骨関節）に移動させる手術です。脚の形はO脚から軽度のX脚に変わります。患者様のひざ関節が温存できますので、術後も6割程度の方で正座が可能です。また、スポーツや肉体労働などへの復帰も可能です。一方で、骨が癒合するまでの間（2~3か月程度）多少の痛みが続くこと、機能回復にはリハビリをしっかりと行う必要があります。

高位脛骨骨切り術（Open Wedge HTO）の特徴

【メリット】

- 自分の関節は温存され、機能が維持されます。
- 日常生活に制限はなく、スポーツ活動も可能となります。
- 痛みは極めて良く改善されます。
- 手術1週間後より歩行訓練を開始、3週間程度の入院で歩いて退院できます。
- 消失した軟骨が再生する場合があります。
- 矯正に使用する人工骨（β-TCP）は2~3年程度で自分の骨に置換されます。
- 60%程度の方が手術後正座可能となります。
- 侵襲（身体に及ぼす影響）が比較的少なく済みます。

【デメリット】

- 骨が癒合するまで痛みが多少続くことがあります。
- 喫煙者や高度肥満者には向きません。
- 機能回復にはリハビリをしっかりと行う必要があります。

